

# 差別発言・差別落書き



● このような会話を聞いたとき、あなたならどうしますか？

考えて  
みましょう  
！

## ～なぜ差別発言が起こるのでしょうか？～

差別はいけないことだと分かっているにもかかわらず、感情的になって相手を攻撃するときや見下すときに差別発言となって現れることがあります。また、意図しなくても、発した言葉によって相手の尊厳を傷つけたり、間違った情報を広めることがあります。

## ～なぜ差別落書きがなくなるのでしょうか？～

誰が書いたか分からないと思って書かれるため、今も差別落書きが発生しています。差別落書きは、一時の感情の高ぶりや軽い気持ちによるものかも知れませんが、その行為は人として卑劣な行為です。

差別落書きは「器物損壊等」の犯罪行為（刑法第261条）になり、その内容によっては「名誉毀損罪」（刑法第230条）になります。

このような差別発言・差別落書きは、同和問題について正しく理解ができていないために、偏見や根拠のないうわさに影響されて生じた差別意識が背景になっていると考えられます。

学習を  
深めるために  
！

## ～ステレオタイプと偏見～



同和地区に対する差別を温存している原因の一つに「ステレオタイプ」や「偏見」と言われるものがあります。誰もが違って当たり前なのに、私たちの意識の中には、ある一定のグループに対して、決めつけたイメージを持つことがよくあります。たとえば、「女の人は機械に弱い」とか「ブラジル人は陽気でサッカーが好きだ」などという一面的なイメージをステレオタイプと呼びます。しかし実際には、「機械に弱い女の人」や「陽気でなく、サッカーが好きでないブラジルの人」もたくさんいるのではないのでしょうか。



人権クイズで  
考えてみよう

あなたは、の中に、どんな言葉を入れますか？

- ・血液型が〇〇の人は、
- ・滋賀県人は、

いかがでしたか。同様に、「同和地区は…」「同和地区の人は…」というようにひとくくりで考えていませんか？自分で体験したことではないのにマイナスの情報をそのまま信じ込んでしまったり、本来個人的なことであるにもかかわらず、全体がそうであるかのように思ってしまうことがあります。こうしたことが、結果として部落差別を助長・拡散することにつながります。